



2021年5月12日

各位

株式会社 C K サンエツ  
 代表取締役社長 釣谷 宏行  
 (コード番号 5757 東証第一部)  
 問合せ先 取締役管理統括部長 松井 大輔  
 TEL (0766) 28-0025

**2021年3月期通期の連結業績予想値と実績値との差異、  
 デリバティブ損失の発生に関するお知らせ**

2021年2月12日に公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想と実績との差異及びデリバティブ損失の発生について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想値との差異について

2021年3月期通期の連結業績予想値と実績値との差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 67,000	百万円 4,800	百万円 1,500	百万円 1,000	円 銭 121.79
実績値 (B)	69,130	5,392	422	174	21.16
増減額 (B-A)	2,130	592	△1,077	△825	
増減率 (%)	3.2	12.3	△71.8	△82.6	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	75,447	4,329	5,862	3,476	424.53

(差異理由)

2021年2月12日の「業績予想の修正に関するお知らせ」の公表後も、主要原材料である銅や亜鉛の相場価格が急騰したことから、売上高、営業利益は前回予想を上回ることになった一方で、銅や亜鉛の相場変動によって生じる損益への影響を打ち消すためのデリバティブ取引で、デリバティブ損失が発生したため、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を下回りました。

2. デリバティブ損失の発生

当社グループ(当社及び連結子会社)の主要原材料で製造業全般の動向を映す銅の価格は、2021年3月期においては、一本調子に上昇を続け、2021年2月12日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表した後も上昇し続け、2021年3月期第3四半期に計上したデリバティブ評価損23億73百万円はさらに増加しました。2021年3月期第4四半期末で、デリバティブ評価損の大部分をデリバティブ損失に振り替えて期間損益を確定させたため、デリバティブ損失は通期で52億49百万円となりました。

以上